

在宅医療・介護連携推進事業における 共通認識と評価指標について（たたき台）

平成30年度第2回つくば市在宅医療・介護連携推進協議会
つくば市在宅医療・介護連携推進協議に会体制整備部会において事務局から提示した内容

つくば市の医療と介護のありたい姿 たたき台

- 1 高齢者に包括的なサービスの提供をするための多職種連携体制。**
(医者やケアマネなど、誰でも顔が見えて、腹を割って話せる関係づくりと関係者が共通の目標に向かって行く関係づくり)
- 2 高齢者が在宅を含めた看取りの場所を選択できる環境。**
(本人や家族の在宅医療への理解や多職種のACPの理解)
- 3 関係多職種のスキルの向上によるマネジメント力の強化。**
(医療、介護、リハビリテーション、薬剤、ファシリテーション、コミュニケーションなどのスキル)
- 4 介護予防や高齢者の社会参加による元気高齢者の増加、地域での支え合いと介護サービス利用の機能分化体制。**
(効果的なサービス提供とサービス機能の分化)
- 5 地域での独居高齢者の見守りや認知症高齢者への早期発見・早期対応による認知症高齢者の増加や悪化の防止。**
(生活支援体制整備推進会議・認知症初期集中支援チーム検討委員会で対応)

つくば市の医療・介護連携の現状 たたき台

- ・医療機関や介護サービス事業所数は十分にある。
- ・医療機関や介護サービスが十分にあるので、市民は容易にサービスを受けることができる。
- ・市民は身近にある総合病院にかかりつけ医の役割を求める傾向もある。
- ・本人や家族が在宅医療の認知度が低い(よく知っているが1割)。
- ・医療・介護の連携は、診療所に比べ病院との連携が取りにくい。
- ・多職種のアドバンス・ケア・プランニングの理解が不足している(人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドラインの認知はこれから)。
- ・本人、家族も「もしもの話、縁起でもない話」をする習慣がない。
- ・関係多職種のスキルが不十分である(本人のアセスメントを実行し、他の専門職と共有できているか。ファシリテーションやコミュニケーションももっと向上できるはず)。
- ・自分以外の職種の理解が不十分(他職種だけでなく、病院医と診療医、病院看護師と訪問看護師等)。

つくば市の医療・介護連携アクションプランたたき台

取組むアクション③

持続可能な医療・介護の体制の構築

地域の中で、最期まで安心して過ごせるつくば市を目指すための意識改革(市民、医療介護関係者)

1. 市民の皆様へ普及啓発-将来の準備のために
 - ①市の出前講座(行政職員が事業内容を伝えます)
 - ②専門職が講師(医師や看護師に協力を求めます)
 - ③講演会(市民健康講座も継続実施)
 2. 情報共有連携ノートの普及
 3. 多職種全体の顔が見える関係づくりの意見交換会の開催(現場の課題や改善策の共有の場)
 4. 人生最終段階における意思決定支援を市民も多職種も身近になる施策を実施(講演会、研修会、広報の強化)
 5. 専門職のアセスメント向上
- 「現状評価と予後予測の見立て」とプロセスの共有スキルを身につける。

つくば市の
医療と介護の
現状

つくば市の
医療と介護の
ありたい姿

つくば市の地域包括ケアシステム植木鉢（たたき台）

持続可能な医療・介護の体制の構築

～地域の中で、最期まで安心して過ごせるつくば市を目指します～

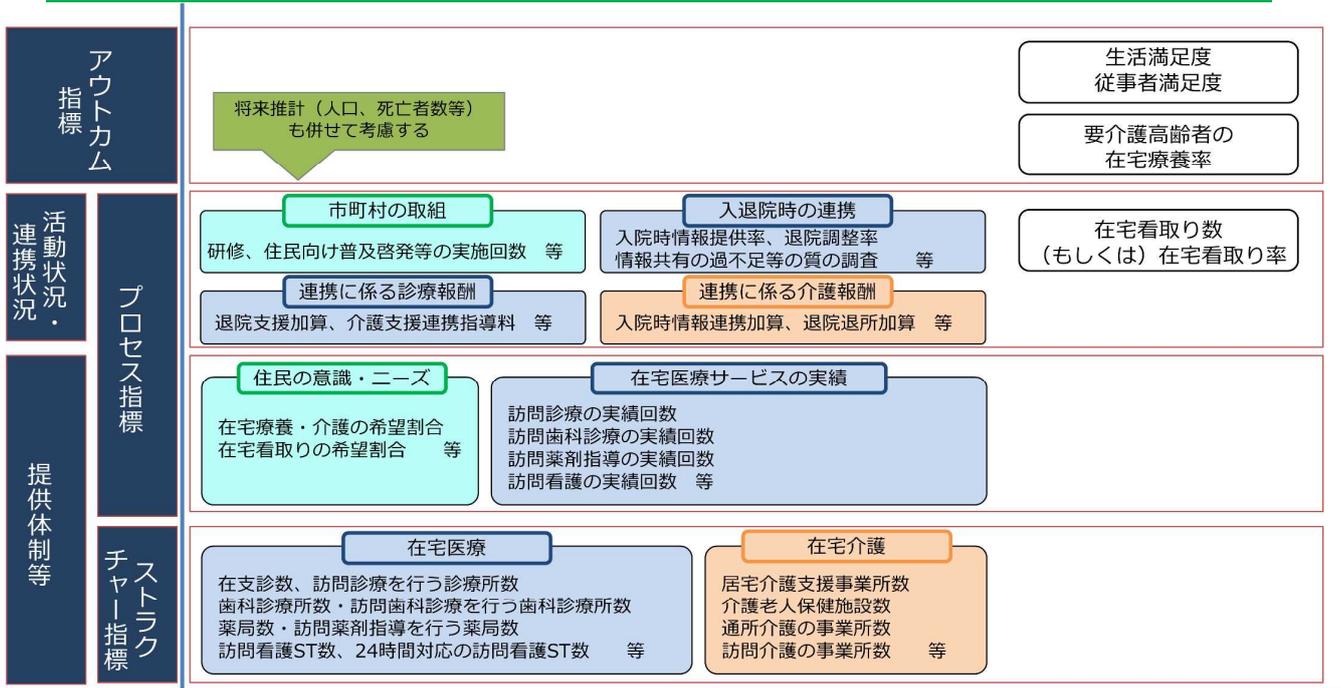
- 市民・支援者の意識向上(つくばで医療介護を受けたい、在宅で支援を受けたい、つくばで医療介護の仕事をしたい等)
- ※ACPの普及啓発(多職種だけでなく、子供から大人まで～小さい時から命について考える～)
- 各専門職と専門職の意識改革(顔の見える関係)等
- ※アセスメントの向上(現状評価と予後予測の見立て)とプロセスの共有



つくば市の植木鉢は市民、専門職、関係機関、行政がパートナーシップで医療と介護の未来を育てます

つくば市の医療と介護の目指すありたい姿を 実現するための評価指標

在宅医療・介護連携推進事業における指標のイメージ



出所) 野村総合研究所作成

評価指標の種類(代表的な指標)

アウトカム (成果指標) 年齢調整死亡率など、サービス提供の結果としての住民の健康状態や満足度等を測る指標	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護高齢者の在宅療養率 ・在宅療養、介護を希望する地域住民の割合 ・在宅看取りの希望割合 ・研修、住民向け普及啓発等の実施回数 ・生活満足度従事者満足度
プロセス (活動指標) 診療件数や多職種連携研修会の実施件数など、実際にサービスを提供する主体の活動や、他機関との連携体制を測る指標	<ul style="list-style-type: none"> ・退院支援加算 ・介護支援連携指導料 ・入院時情報連携加算 ・退院退所加算 ・在宅看取り数もしくは在宅看取り率 ・ターミナルケア加算
ストラクチャー (構造指標) 医療施設数など、医療サービスを提供する物的資源、組織体制の充足度を測る指標	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養(歯科)支援診療所 ・訪問診療や往診を行う診療所・病院 ・訪問看護事業所、訪問看護師 ・居宅介護支援事業所数 ・介護老人保健施設数 ・通所介護の事業所数 ・訪問介護の事業所数 ・訪問診療の実績回数

地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業における在宅医療・介護連携推進事業の実施状況および先進事例等に関する調査研究事業報告書(野村総合研究所)を参考に作成